

地域リハビリテーション出前講座 の実施状況と来年度の取組について



千葉県マスコットキャラクター
チーバくん

令和6年3月
千葉県健康福祉部
健康づくり支援課
地域リハビリ班

- 1. 講座実施の経緯**
- 2. 今年度の実施状況**
- 3. 来年度の取組**
- 4. 来年度のスケジュール**
- 5. 最後に**

1 講座実施の経緯

「千葉県における今後の地域リハビリテーション支援体制のあり方に関する報告書」(平成27年度作成)

⇒⇒⇒ 地域組織や教育機関への働きかけが重要



国立・私立を含む県内のすべての小学校に通う
5年生～6年生を主な対象として出前講座を実施

2 今年度の実施状況

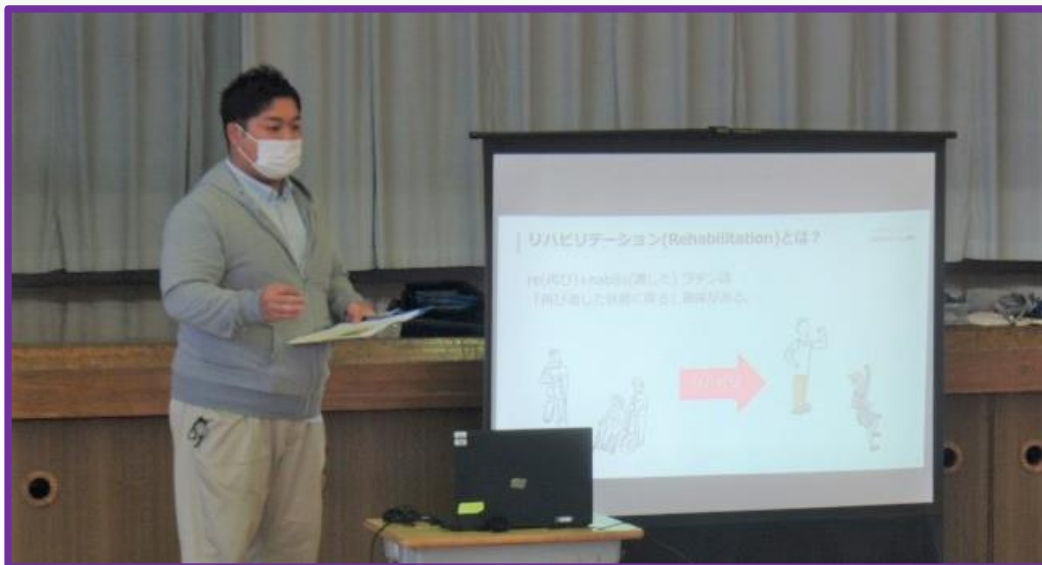
圏 域	市町村	実施校数	対 象	内 容
東葛南部	船橋市	1校	4年生	車椅子体験
印 旛	富里市	1校	6年生	職業紹介・体験
香取海匝	香取市	1校	5年生	車椅子体験
	銚子市	1校	4年生	車椅子体験
君津	富津市	1校	6年生	職業紹介、車椅子体験
	計	5校		

実施風景

富津市

R5.12.11

「車椅子体験」



富里市

R6.1.30

「職業紹介・体験」

実施校の感想

車椅子体験・職業紹介

多職種の方々の講義を受けることができ、児童たちへの良い刺激となりました。児童から「誰かのためになる仕事に憧れました」と感想を聞いて、充実した時間であったことが再確認できました。

職業紹介・体験

働いている方と直接話し、グループごとに体験できたことが子どもたちにとって貴重な体験となりました。

3 来年度の取組について

H28年からの試行期間も含め、講座開始から8年経過

課題点・改善点




対象は小学生で良いのか

学校側のニーズと合っているか

>> 県・県支援センター・広域支援センターとの間で見直し・再検討をおこなってきた。

時期	参加者	検討実施方法	内容
R5年2月	県地域リハビリ班 県支援センター 広域支援センター	R5年2月度定例ミーティング	意見収集
R5年4～12月	県地域リハビリ班 県支援センター	定例会等において随時検討	講座の対象・ 手段・目的の選定
R6年2月	県地域リハビリ班 県支援センター 広域支援センター	R6年2月度定例ミーティング	検討結果の整理 懸念事項の確認

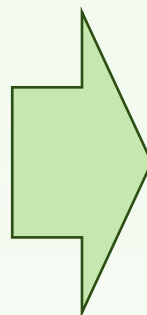
検討事項① 現状・課題

現状・課題		検討経過
<ul style="list-style-type: none">実施件数が伸び悩んでおり、効果の広がりや理解が薄い		理解を深めるため対象年代を上げる
<ul style="list-style-type: none">他団体との実施内容と類似している		リハ職として独自性がある講座の実施
<ul style="list-style-type: none">負担増や人員確保が難しい（特に学校側との調整）		運営側の負担を減らす工夫

検討事項② 対応案

新たな取組内容案

- 対象：高校生
(主に1～2年生)
- リハ専門職について理解を深める講座
- 副次的にリハビリテーションや障がいについて理解を図る



期待できる効果

- 講座内容への深い学び
- リハ職に対する理解
→職業選択への結びつき
- テーマを統一することによる準備負担軽減
- キャリア教育ニーズによる実施件数確保

検討結果

令和6年度については以下①～④のとおりとし、関係部局と協議をしながら、県支援センター・広域支援センターと共に進めることとしたい。

①実施対象	県内の公立・私立高校に通う高校生(主に1～2年生)
②実施内容	PT・OT・ST等リハビリテーション専門職(以下リハ専門職)についての紹介や体験
③実施目的	<ul style="list-style-type: none">リハビリ、リハ専門職について理解してもらい、職業を選ぶうえでの一つの選択肢としてもらうこと。障がいに関心を持ってもらうこと
④達成目標	<ul style="list-style-type: none">リハビリがどのようなものか理解するリハビリに携わる職業にどのようなものがあるか理解するPT・OT・STの仕事の内容を理解する障がいに関して新しい視点を獲得し、理解を深める

4 来年度のスケジュール

R6年度スケジュール(予定)	
4月～5月	<ul style="list-style-type: none">○ 実施要領等作成○ 関係課連絡調整
5月～6月	<ul style="list-style-type: none">○ 募集開始・周知案内
募集開始～ R7.2月末	<ul style="list-style-type: none">○ 応募があり次第、広域Cと調整・実施○ 講座実施後、学校向けアンケート実施
3月	<ul style="list-style-type: none">○ 広域C向けアンケート実施○ 次年度要領等調整

5 最後に

- 教育機関への働きかけとして、出前講座は重要な立ち位置を持っている。
- 持続可能な地域リハ支援体制を目指し、若年層へのアプローチとして積極的な姿勢で取り組む。
- 来年度の協議会で経過を報告していく。

